

## 第 5 章 インディケーターとテンプレート

---

### MetaTrader4 に標準装備されているインディケーターの使い方

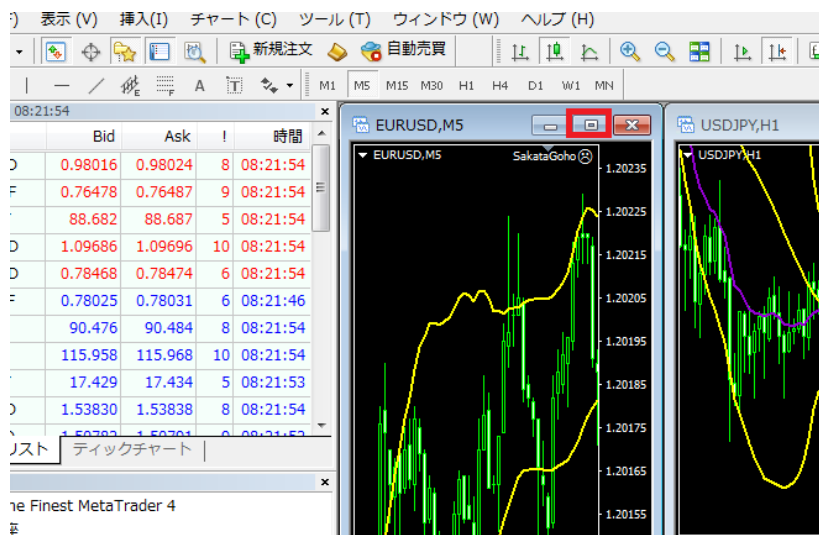
ここまでの作業で、MetaTrader4 の基本的なチャート操作についてはマスターできたと思います。  
ここからは、MetaTrader4 に標準装備されている「インディケーター」という便利なテクニカルツールを追加して実際にいろいろなチャートを作っていきたいと思います。

MetaTrader4 には 50 のインディケーターが標準装備されています。

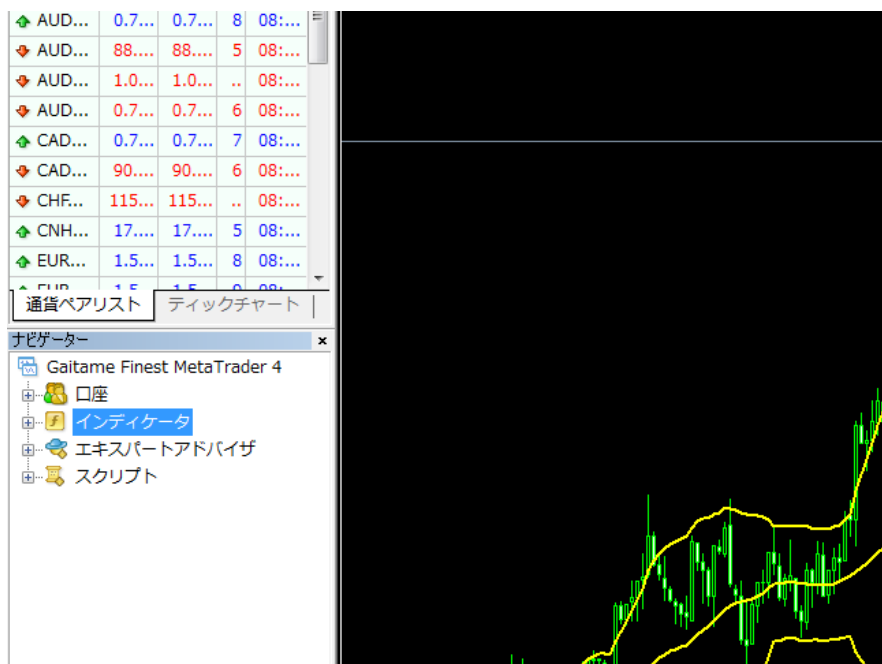
これだけでも十分、テクニカル分析に活用することが出来ますが、オリジナルインディケーターを追加し更に高度なチャートシステムを構築することも可能です。

今回は、ストキャスティクス (Stochastic Oscillator) と移動平均線 (Moving Average) を使って、インディケーターの追加と削除をマスターしましょう。

## ① インディケータの追加方法



最初に EURUSD のチャートを選択し○で囲んだ「最大化ボタン」を押してチャートを拡大します。



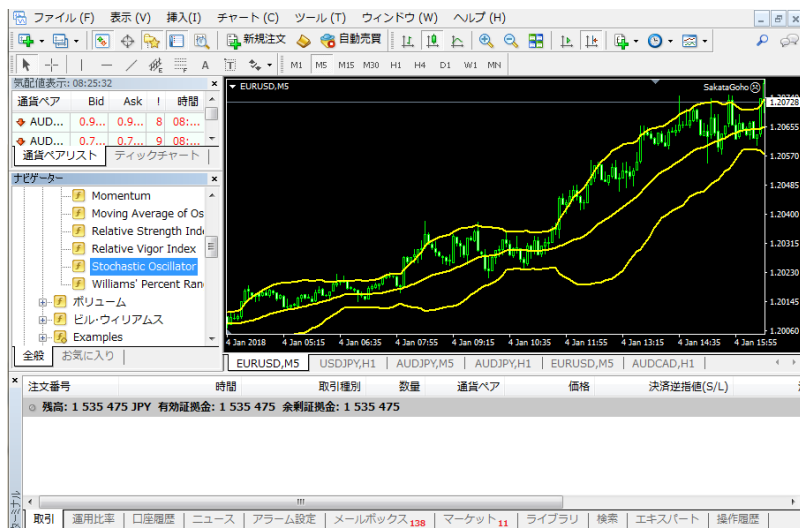
チャートには黄色い「ボリンジャーバンド」が表示されていると思います。

※表示されていない場合も、このまま読みすすめていただけます。

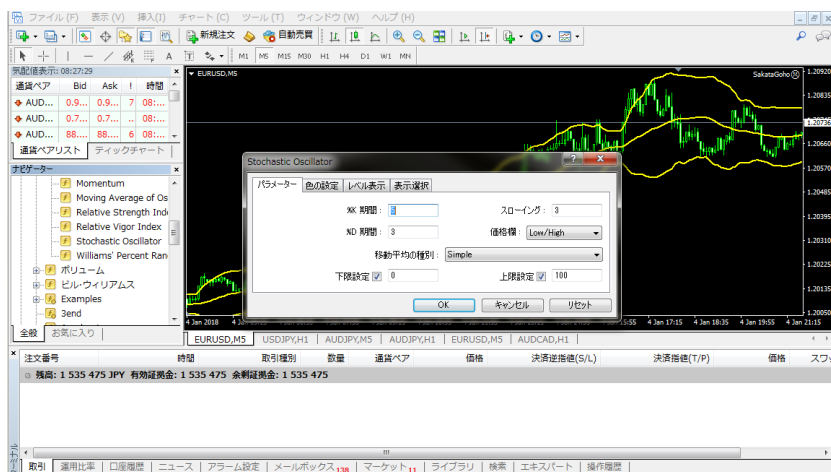
まずはこのチャートに「ストキャスティクス インディケータ」を追加してみたいと思います。

左側のナビゲーターウィンドウの「インディケータ」の「+」の部分を押して展開します。





「Stochastic Oscillator」を探し(アルファベット順に並んでいます)、マウスで選択しチャート上にドラッグします。

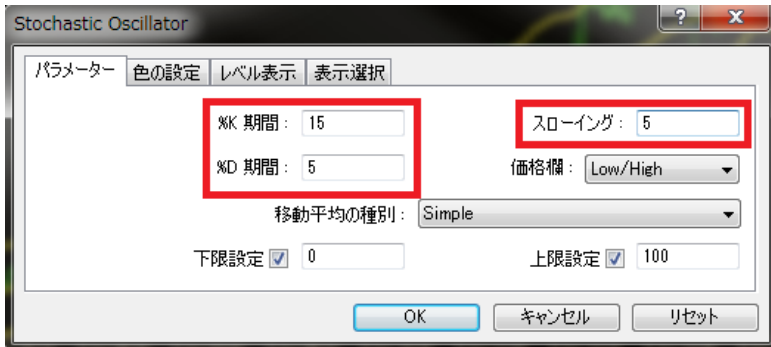


チャート上に、ポップアップウィンドウが開きます。

通常このままの設定値 (MetaTrader4 ではパラメーターといいます) で問題なければそのまま「OK」を押しますが、このときパラメーターを変えることによりオリジナルのセッティングが可能になります。

今回は、%K period に 15、% Dperiod と Slowing に 5 と入力します。

入力後 「OK」を押します。  
※スローストキャスティクスとは通常のストキャスティクスよりも反応を落としたもの (Slowing の値を入力することで設定できる)



ストキャスティクスがチャートの下段(サブウィンドウといいます)に表示されました。

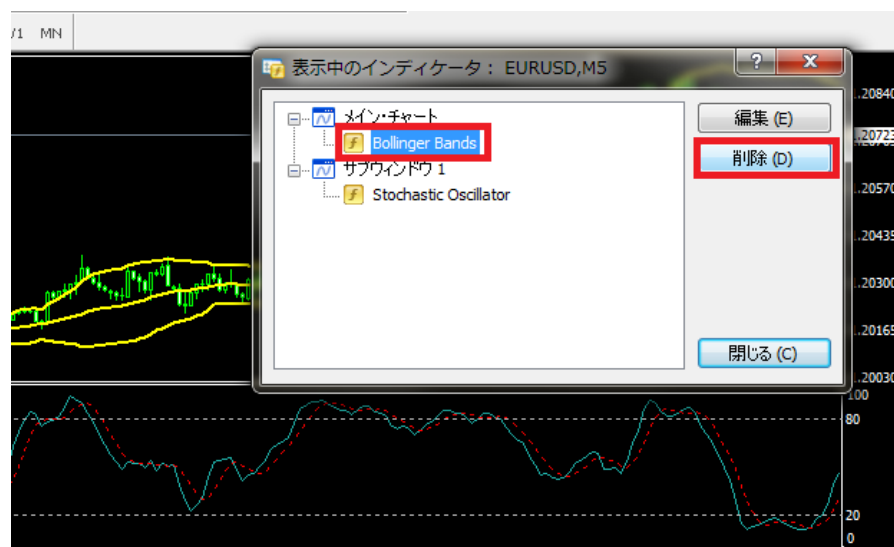


インディケータの中には今回のストキャスティクスのようにサブウィンドウに表示されるものと、移動平均線のようにメインウィンドウに表示されるものがありますが基本的な操作方法やパラメーターの変更方法は同じになります。

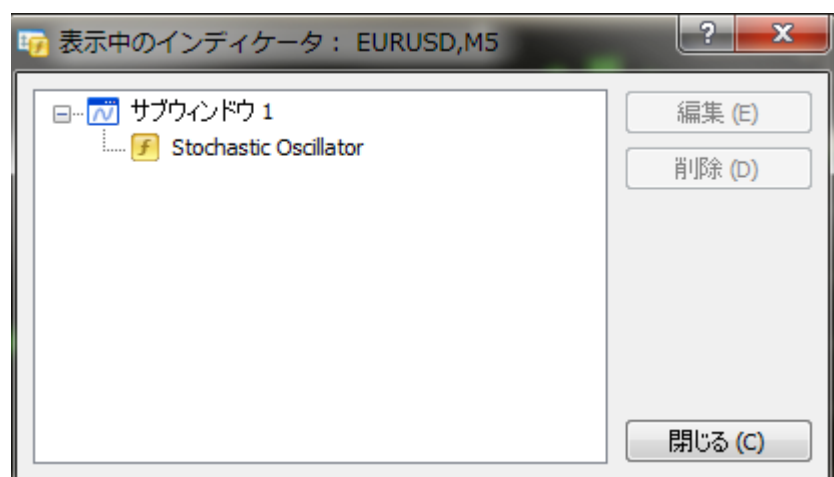
## ②インディケータの削除方法



画面のチャート上でマウスの「右クリック」をすると、ポップアップが開きますので、「表示中のインディケータ」を選択しクリックします。



ポップアップウィンドウが開きますので「Bolinger Band」をマウスで選択し「削除」ボタンを押します。



ポップアップウィンドウの中から「Bolinger Band」が消えているのを確認し、「閉じる」ボタンを押します。



メインウィンドウから先ほどのボリンジャーバンドが消えていれば OK です。



これでインディケータの追加と削除は終了です。

左側のナビゲーターに表示されるインディケータの基本操作は全て同じですので、いろいろとお試してください。

## テンプレートを活用してオリジナルチャートを保存する

ここまでチャートの基本的操作、そしてインディケータのセッティング等を解説してきました。

MetaTrader4 を使うと、いろいろなチャートが作れると思う反面、毎回チャートを新しく作るたびに、足形や、パラメーターのセッティングなどを設定するのは少し面倒だなと思われたことでしょう。

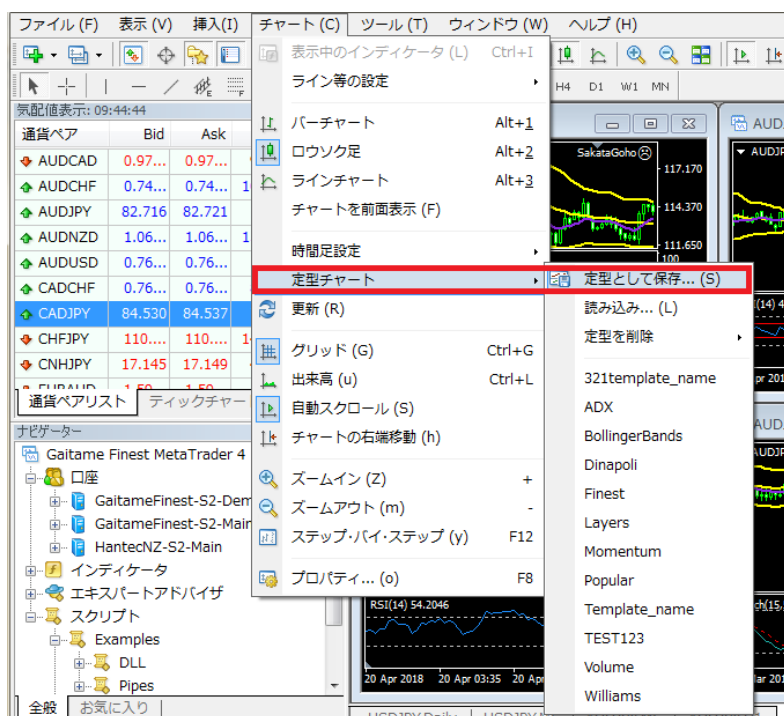
ご安心ください、MetaTrader4 には手塩にかけて作ったオリジナルチャートを他の通貨ペアにすぐに反映できる「テンプレート」という非常に便利な機能があります。

いくつでも独自のチャートを作った場合でも、テンプレートとして保存することにより、瞬時にお気に入りのチャートを表示することができます。

複雑な設定をした場合など、毎回チャートのパラメーター設定を変えるのは大変ですので、オリジナルチャートを作った時は「テンプレートとして保存」しておくことをおすすめします。

それでは先程作ったチャートをテンプレートとして保存してみましょう。

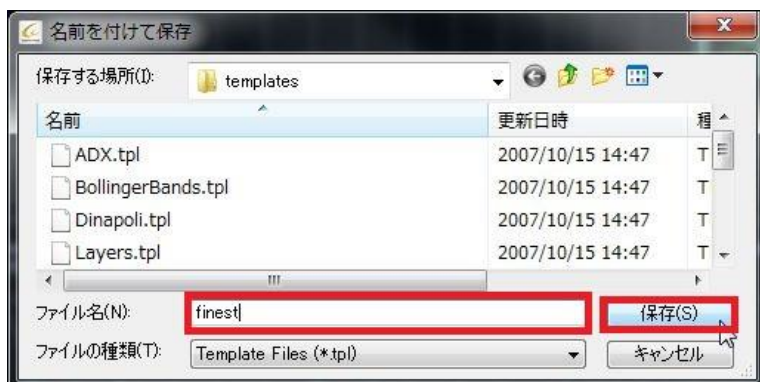
## ① テンプレートの保存



まずツールバーメニューから「チャート」を選択します。

プルダウンメニューが開きますので、「定型チャート」をクリックします。

次にメニューが開きますので「定型として保存」を選択をクリックします。

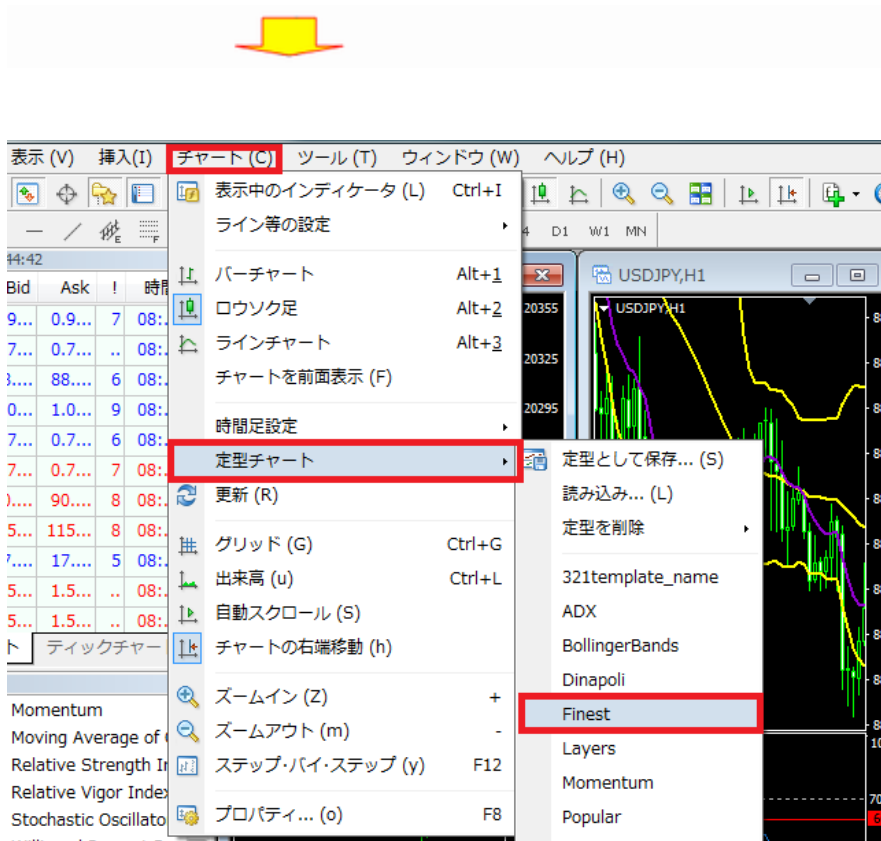


「名前をつけて保存」というポップアップが開きますのでファイル名に今回は「finest」と入力し、「保存」ボタンを押します。

## ②テンプレートを他のチャートに反映する



保存が完了したら、右上の「元に戻す」ボタンを押して、6分割の画面に戻します。そして6分割の形に戻りましたら、全てのチャートに先程の「finest」テンプレートを反映させていきます。



ツールバーメニューから「チャート」をクリックすると、プルダウンメニューが開きますので、「定型チャート」を選択します。さらに横にメニューが開きますので「finest」という名前を選択しクリックします。

チャートを選択し上記の手順を繰り返すことで、全てのチャートに「ストキャスティクス 15-5-5」が反映することができます。





6つの通貨ペアのチャートに、先ほど作った「ストキャスティクス 15-5-5」が反映されました。

このようにテンプレートを作っておけば、通貨ペア別や時間足別など、独自のチャートをすぐにトレードに役立てることが可能です。

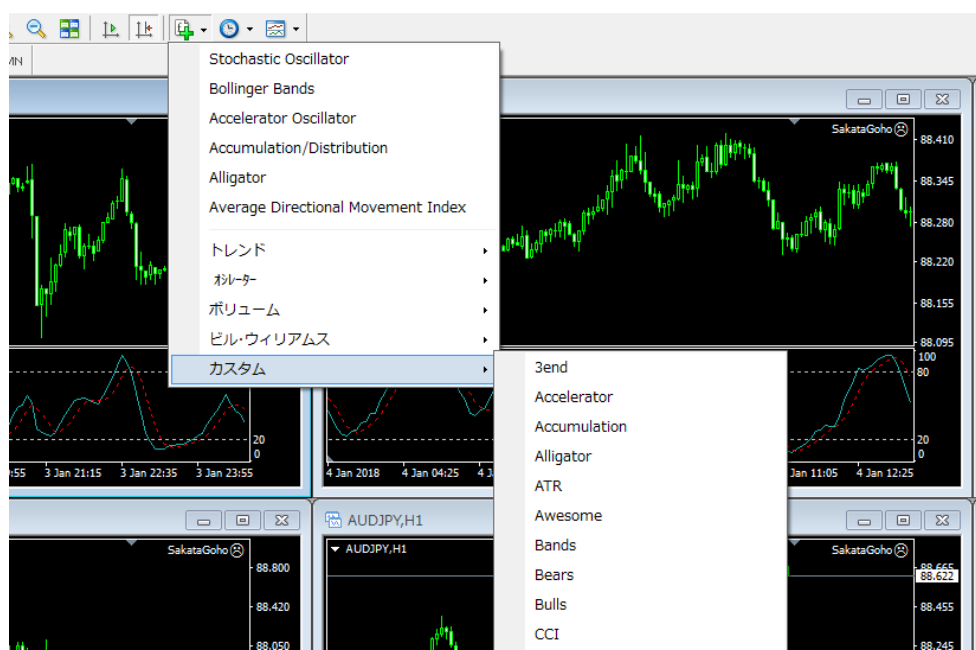
## カスタムインディケータの活用

### ①カスタムインディケータとは

ここまでの、MetaTrader4の基本操作、インディケータの表示、テンプレートでのチャートの保存方法について進めてきました。

今回は、いよいよMetaTrader4のチャートソフトとしての拡張性を高めるためのツール(カスタムインディケータと呼びます)について詳しく説明してみたいと思います。

MetaTrader4で使用するインディケータには、標準インディケータ「インディケータ」と「カスタムインディケータ」の2種類があります。



先に説明しましたように、代表的なテクニカルツール(例えば、RSI や、移動平均線、ストキャスティクス、MACD、ADX など)はナビゲーターの「インディケーター」で網羅されています。

また、各インディケーターは「パラメーター」という細かな設定が可能で、期間などの設定に加えて線の太さや色などを変えることも可能です。

今回詳しく取り上げるのは、カスタムインディケーター「Custom Indicators」についてです。

こちらは、「ナビゲーター」ウィンドウの「ナビゲーター」を展開して表示したものです。



インストール直後で、20 のインディケーターが装備されています。(全て英語ですが、アルファベット順に並んでいます。)

MetaTrader4 ではインターネット上で配布されているカスタムインディケーターや、自分でプログラムしたカスタムインディケーターを追加することが出来、ここが他のチャートソフトとの一番大きな違いです。

そしてこの「インディケーター」をいかに使いこなすかが、まさしく MetaTrader4 の醍醐味で、また優れたチャートソフトといわれる所以となります。

## ②カスタムインディケータの取得・インストール方法

MetaTrader4 は米国をはじめ海外では非常にメジャーな取引ツールとして人気があります。

また、カスタムインディケータも有志が無料でさまざまな種類のインディケータを公開していますので、インターネットを使って取得することが可能です。

たとえば、google や yahoo の検索で「メタトレーダー インディケータ」と入力して検索してみるといくつかのサイトが見つかると思います。

### ※ご注意※

下記のインディケータ入手方法並びに使い方はあくまで一例で、当社が利用を推奨するものではありません。

無料のインディケータ掲載サイトより入手される際はご自身の責任においてお試しいただきますようお願いいたします。

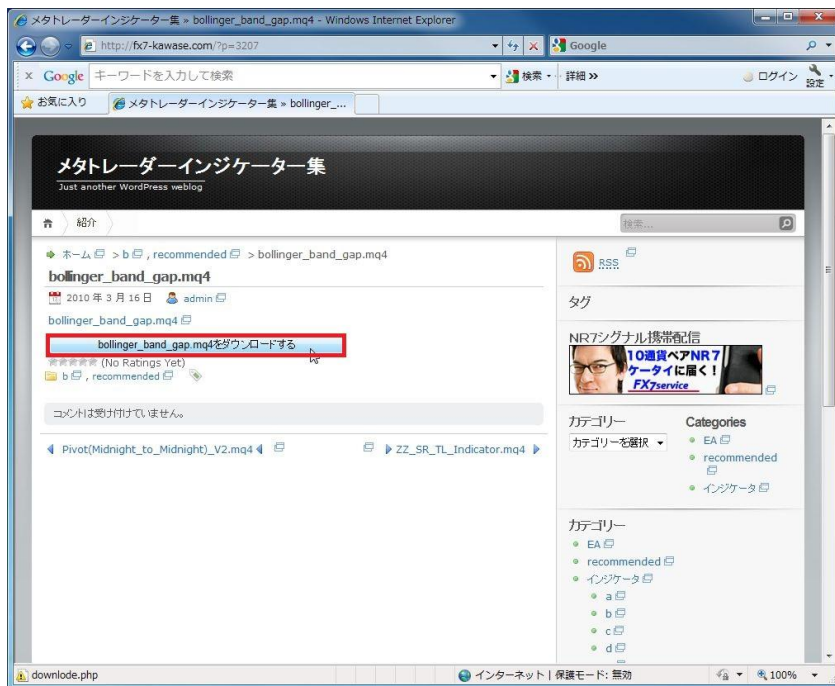
また、ご自身で入手したインディケータに関する問い合わせは当社サポートの対象外となりますので、ご了承ください。

<http://fx7-kawase.com/>



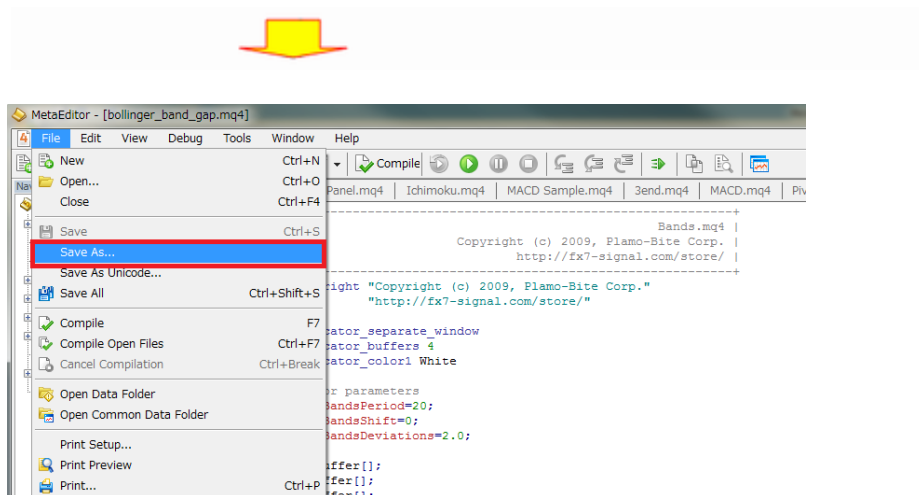
全部で 3000 ほどのフリーのインディケータが並んでいます。

今回は「bollinger\_band\_gap」というインディケータをここからダウンロードしてみましょう。



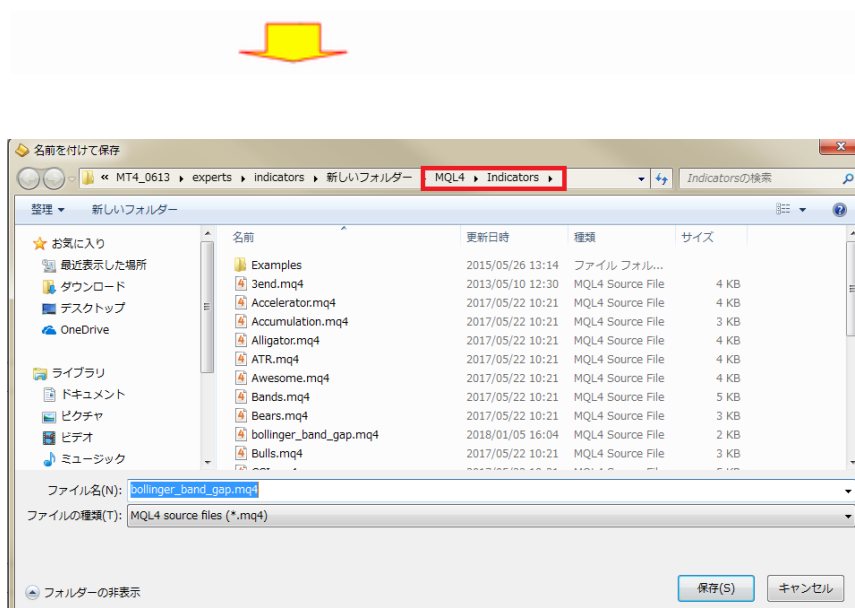
「bollinger\_band\_gap」を選択し、個別のページを開きます。次にbollinger\_band\_gapをダウンロードする」ボタンを押します。

※ 「bollinger\_band\_gap」が見つからない場合は検索ウィンドウに、bollinger と入力して探してみてください。



ダウンロードしたインディケータのメタエディター画面が表示されます。

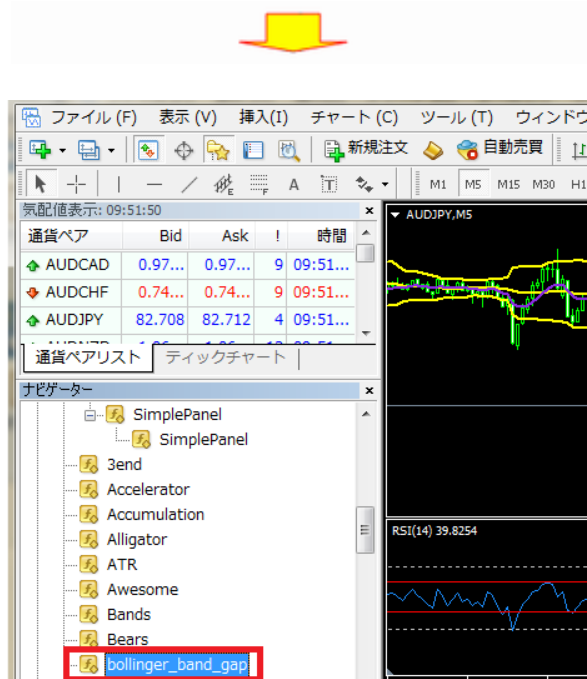
画面左上の「File」から「Save AS」を選択します。



次に名前を付けて保存ウィンドウが開きますので、保存場所を「MQL4」→「Indicators」に指定し、「保存」ボタンを押します。

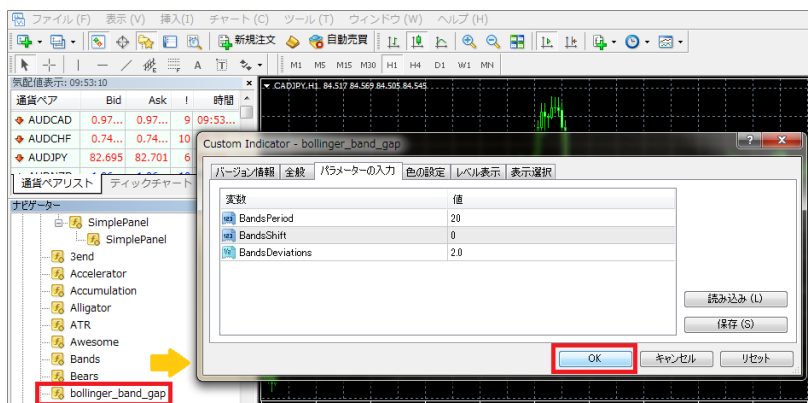
## 【保存先フォルダの開き方】

フォルダを全て閉じて、MetaTrader4 を再度起動（一旦閉じて再度開きます）させます。



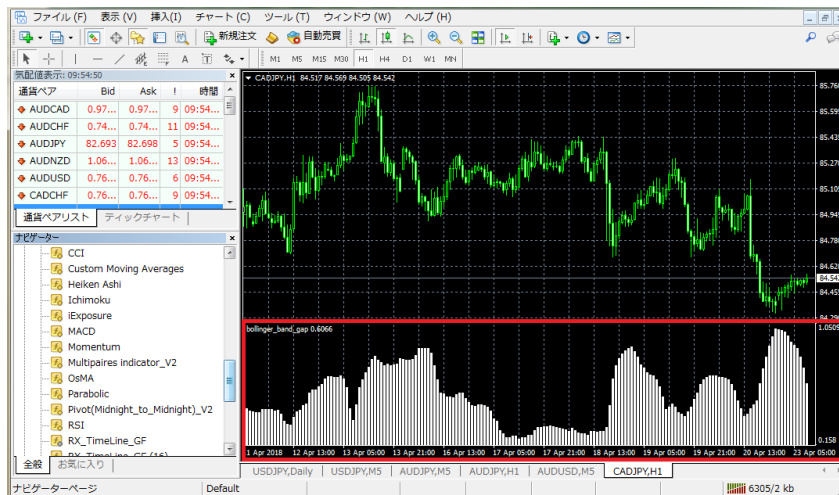
ナビゲーターのインディケータの中に、先ほどインストールした、「bollinger band gap」のインディケータが表示されていれば、インストールは成功です！

それでは早速、「bollinger band gap」をチャートに表示してみましょう。



「bollinger band gap」インディケータをチャート上にドラッグします。

POP アップウィンドウが開きますので、今回はそのまま「OK」ボタンを押します。



サブウィンドウに「bollinger band gap」インディケーターが表示されました。

ご覧のように、「ボリンジャーバンド・ギャップ」はチャートウィンドウ上の「ボリンジャーバンド」の幅がグラフとして表現されるインディケーターです。

出来上がったチャートを、先ほどの「テンプレート」として保存しておくると他の通貨ペアでも瞬時に同じチャートが作れて便利です。